

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成30年度 第3回短期大学会議教育改革ICT運営委員会議事録

I. 日時 平成30年7月27日(金) 16:00~18:00  
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、岡本委員、三田委員、西岡委員、後藤委員  
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

1. 「平成30年度短期大学教育改革ICT戦略会議」の運営について

- ① 全体討議は、地域拠点としての短期大学教育の充実・強化を考える」をテーマに、短期大学生の感性や情報活用力、情報発信力を地域の活性化・発展に繋げることにより、学生の実践的なキャリアを高める教育の仕組みについて探求することにした。
- ② そのために、実践女子短期大学部が教室外学修として実践している経験を踏まえて、地域貢献活動に必要な知識・技能をネット上で共有・活用できるプラットフォーム作りの提案を行い、ニーズを確かめる中で実現に向けた戦略について探求することにした。
- ③ 三田委員からは、学生が主体的に取り組める地域貢献として、学生によるSNSやICTを活用した情報発信による地域活性化の実現と、体験学修による実践的なキャリア能力の向上に高い効果が期待できることを紹介する。その上でネット上に学びのプラットフォームを本協会の短期大学教育改革ICT運営委員会で仮設し、有志の短期大学間で学修コンテンツの作成を学生中心で分担する提案を行うことにした。
- ④ Webサイト作りやSNSを用いた広報案内の仕方、活動情報を拡散するためにInstagramを用いた動画・写真の作り方、お年寄りの方を見守る一環としてコミュニケーションをとる方法などのノウハウを教員の協力を得ながら、私情協のプラットフォームに格納・共有できるよう提案することにした。
- ⑤ 意見交換では、次の点に絞って40分意見交換することにした。
  - \* 社会に役立ちたいという学生の自己犠牲を厭わない崇高な気質を反映した授業プログラムにするには、学生に興味・関心のあるテーマとして、ICTを活用した情報の活用や情報の発信による地域活性化の貢献活動を短期大学が連携して取り組むことの必要性について確認する。
  - \* 過密な学修の中で地域貢献活動を教育プログラムとして正課授業で扱うべきか、課外授業で扱うべきか、1年次に実施すべきか、2年次で就職が決定した後に実施すべきかなど実現の可能性について意見交換し、課題を整理する。
  - \* 地域貢献活動に必要な最小限の知識・技能の修得をネット上で学べるプラットフォーム構築の必要性を確認し、その上で短期大学連携による地域貢献活動コンソーシアムの提案について、参加している短期大学の反応をうかがい、今後本協会として取り組む価値の可能性を見極める。
  - \* コンテンツの作成は、できるだけ学生に関与させるようにするため、キャリア教育の一環として取り扱い教員の支援を得て作成することが望まれるが、それが不可能な場合には、学生がコンテンツを作成する教員にインタビューするなどの工夫についても意見交換する。

2. 短期大学教育改革会議の司会、機関誌の執筆分担について

大会運営の役割分担について、次のように決定した。

- ① 開催趣旨の挨拶 戸高委員長
- ② 講演の司会： 岡本委員  
事例1・事例2の司会：西岡委員
- ③ 全体討議(司会・座長)：戸高委員長
- ④ 機関誌原稿の執筆
  - \* 講演： 岡本委員
  - \* 事例1・事例2：西岡委員
  - \* 全体討議： 三田委員

3. 今後のスケジュールについて

役割分担の担当者は、9月6日(木)12時に短期大学教育改革ICT戦略会議の昼食会場に集合し、事例発表者、全体討議関係者と時間配分、質疑時間などについて直前の打ち合わせをすることにした。

以上